

## 筑後川遺産保存活用の推進プラン（1）攻める！戦国高良山

### 【①ストーリー】

耳納山地の西端に位置し、中腹に筑後一の宮高良大社が鎮座する高良山は、古代より上山として崇敬されてきました。一方で、古代には山城である高良山神籠石が築造され、南北朝時代や戦国時代には毘沙門岳城や鶴ヶ城、杉ノ城、吉見岳城、古宝殿城など数多くの山城が築かれるなど、戦略拠点として重要な場所でした。戦国時代、北部九州の覇を争った豊後の大友、肥前の龍造寺は、繰り返し天嶮の要害高良山を奪い合う争いを繰り返して、戦国末期には島津が迫ります。やがて、豊臣秀吉の九州平定により、この争乱の地は素平の世を迎えることとなりました。

戦国時代の戦乱により、高良山中の多くの寺社が被害を受けたと伝わりますが、高良大社には、紙本墨書平家物語や絹本著色高良大社縁起、高良大社所蔵文書などが伝わっています。また、参道から山中に入ると、随所に寺院の跡や古墓などが残されており、モウソウキンメイチクや紅葉など自然豊かな景観が参拝者を楽しませてくれます。高良大社や麓の寺社には獅子舞などの祭礼、花火動乱蜂など民俗文化財も数多く残り、戦いの山であるとともに、歴史文化が色濃く残るエリアとなっています。



### 【②構成する歴史遺産】

- (国) 高良大社本殿・幣殿・拝殿、大鳥居
- 毘沙門岳城
- 鶴ヶ城
- 杉ノ城
- 吉見岳城
- ふるほうでんじょう
- 古宝殿城
- (国) 紙本墨書平家物語
- (国) 高良山神籠石
- (国) 高良山のモウソウキンメイチク林
- (県) 絹本著色高良大社縁起
- (県) 高良大社所蔵文書
- (県) 祇園山古墳
- (県) 高良山御手洗橋
- (県) 高良大社の楠樹
- (県) 花火動乱蜂
- (市) 高樹神社の石造狛犬
- (市) 高良山獅子舞川渡祭
- 高良大社例大祭
- 高良大社神幸祭
- 高良外宮社
- 高樹神社
- 大学稻荷神社
- 愛宕神社
- 礫山古墳
- 御手洗池
- 王子池
- 高良大社の参道
- 御手洗池の紅葉
- あじさい祭り
- 紅葉祭り など

### 【③課題】

高良山の自然環境や数々の遺構は時間の流れに伴う荒廃や災害によって失われる危険性があります。また、高良山を散策する人に戦いの山として知ってもらう取組が十分ではありません。

### 【④未来のストーリー】

豊かな自然環境と石垣や土塁などの遺構とともに守っていきます。山歩きを通して、自然と歴史にふれることで、心と体の健康増進を図りながら、戦いの山としての高良山を広く知ってもらえるよう取り組んでいきます。

#### 取組の方向

- 山城関連歴史遺産の調査
- 山城散策コースの整備
- 高良山歴史遺産の環境整備
- 高良山の環境保全
- 高良山の歴史遺産活用の促進

### 【⑤体制】

(令和3年6月時点)

地域	市民	御井町、山川町、高良内町他
	市民団体	高良山緑と史跡を守る会、NPO法人久留米ブランド研究会、
	事業者	
	関係機関	高良大社
久留米市		文化財部局、観光部局ほか

## 筑後川遺産保存活用の推進プラン（２）石室を彩る原始絵画 - 耳納北麓の装飾古墳 -

### 【①ストーリー】

今から1,500年ほど前の古墳時代、耳納山地北麓には豪族や有力者たちが数多くの古墳を築造しました。特に6世紀の後半になると、山麓各所に直径10m～20mほどの小型の円墳が密集して造られた後期群集墳が発達します。この数は現在確認できるものだけでも森部平原古墳群や益生田古墳群など400基以上、これまでに消滅した古墳や未発見のものを考えると1,000基を超える古墳が存在したと考えられます。耳納山地北麓にこれだけ多数の古墳が営まれたことは、当時多くの人々がこの地で生活していたことを物語っています。この地域の古墳で特徴的なのが、死者を埋葬した石室に彩色で図文を描く装飾古墳が確認できることです。田主丸から草野にかけて同心円や三角文、人物や舟、鞍などを描いた装飾古墳が多数残っています。

これらは耳納北麓を通過する山辺道で結ばれ、道沿いには古代や中世に開基したと伝わる石垣観音寺や若宮八幡宮などの寺社、近世の日田往還沿いに発達した草野町の伝統的町並みなどが広がります。自然豊かな当地の歴史文化に育まれた神幸祭や仏像、古木なども数多く伝え残されています。

### 【②構成する歴史遺産】

- (国) 田主丸古墳群
  - ・ 田主丸大塚古墳
  - ・ 寺徳古墳
  - ・ 中原狐塚古墳
  - ・ 西館古墳
- (国) 下馬場古墳
- (県) 前畑古墳
- (県) 森部平原古墳群
- (市) 装飾古墳石材
- (県) 須佐能袁神社本殿、拝殿、楼門
- (県) 鹿毛家住宅
- (市) 石垣神社の石造鳥居
- (市) 寿本寺山門
- (市) 紙本著色若宮八幡宮縁起
- (市) 若宮八幡宮の神幸行事
- (市) 須佐能袁神社の神幸行事

- (国) 木造阿弥陀如来立像
- (県) 木造毘沙門天立像
- (市) 阿蘇神社の楠
- (市) 観音寺のハルサザンカ
- (市) 安超寺の銀杏
- 清長橋古墳群
- 益生田古墳群
- 善院古墳群
- 石垣観音寺
- 石垣神社
- 草野町伝統的町並み保存地区
- (国登) 草野歴史資料館
- (国登) 山辺道文化館

### 【③課題】

装飾古墳が点在しており、一体的な保存・活用に至っていません。また、公開されていない古墳が多く、壁画などを目にする機会が限定的です。

### 【④未来のストーリー】

点在する大きささまざまな装飾古墳を人々が身近に感じられるようにし、一体的に保存・活用を図ります。装飾古墳を身近に感じられるような取組を通して、文化芸術活動の振興に貢献していきます。

取組の方向	
○	耳納北麓の装飾古墳の整備
○	原始絵画をテーマとした文化芸術振興
○	耳納北麓の装飾古墳めぐりの実施

### 【⑤体制】

(令和3年6月時点)

地域	市民	田主丸町他
	市民団体	水繩校区まちづくり振興会
	事業者	
	関係機関	大塚古墳歴史公園、田主丸総合文化施設（そよ風ホール）、世界のつばき館、草野歴史資料館
久留米市		文化財部局、文化芸術部局ほか



## 筑後川遺産保存活用の推進プラン（3）高良遊山- 絵葉書で観光しませう -

### 【①ストーリー】

古代以来、宗教や政治の中心として、また軍事上の要害として、歴史的に重要な役割を果たしてきた高良山ですが、近代以降、参拝に観光を兼ねて訪れる人々が増えていきました。

昭和13年(1938年)久留米市観光協会が刊行した『久留米市観光読本』や、明治から昭和にかけて高良神社(現在の高良大社)が発行した案内の銅版画やしおり、絵葉書には高良山の様々な名所が記されています。なかでも、昭和12年(1937年)の『国幣大社高良神社由緒略記』には祭神、神事、祭事、宝物などに続き、古代の神籠石、中世の山城、近世の高良山十景などの名所、そして高良山までの順路、交通機関が紹介されています。

麓から徒歩で高良山を訪れるとき、私たちは近代の人々が歩いた参道や眺めを当時と同じように楽しむことができます。

### 【②構成する歴史遺産】

(国) 高良大社本殿・幣殿・拝殿、大鳥居(一ノ鳥居)  
 (県) 御手洗橋  
 (国) 高良山神籠石  
 (県) 祇園山古墳  
 (市) 高樹神社の石造狛犬  
 味水御井神社・朝妻の清水  
 御手洗池、高樹神社、愛宕神社  
 大学稻荷神社、奥宮、参道  
 旧宮司邸・蓮台院御井寺跡  
 ニノ鳥居、三ノ鳥居・本坂  
 絵葉書、『久留米市観光読本』など



### 【③課題】

高良山の風景が描かれた絵葉書や刊行物などが観光振興等に十分活かされていません。

### 【④未来のストーリー】

近代の人々が歩いた参道や眺めを守りつつ、変わったもの、変わらないものを見比べながら、往時に思いを馳せる楽しみを伝えていきます。また、観光名所としてさらに磨きをかけていきます。

#### 取組の方向

- 高良遊山の観光プロモーション
- 高良山の景観形成
- 新たなスポットの創出
- 散策コースの整備

### 【⑤体制】

(令和3年6月時点)

地域	市民	御井町、山川町、高良内町他
	市民団体	高良山観光ボランティアガイドの会
	事業者	
	関係機関	高良大社
久留米市		文化財部局、観光部局ほか